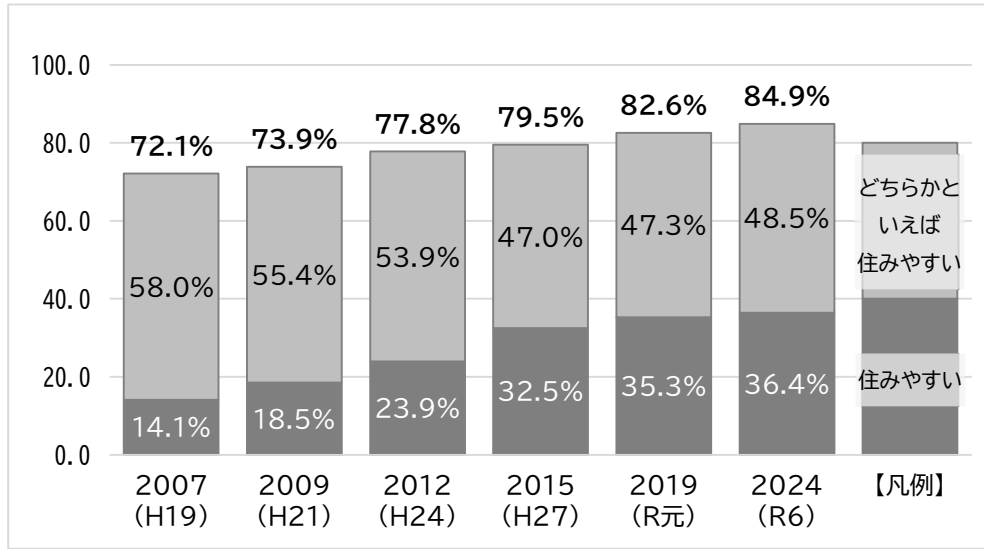


3 市民の和光市に対する意識

● 「和光市は住みやすい」と感じる市民は増加傾向

本市の住みやすさについて、第五次和光市総合振興計画策定時(令和元(2019)年度調査)では、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した市民は82.6%でしたが、令和6(2024)年度調査では、84.9%となりました。住みやすいと感じる市民が年々増加しており、高い水準となっています。



● 「和光市に住み続けたい」と考える市民は約9割

本市に今後も住み続けるかどうかの意向について、令和元(2019)年度調査では、「ずっと住み続けたい」、「当分の間、住み続けるつもり」と回答した市民が89.3%でしたが、令和5(2024)年度調査では、85.7%となりました。

その主な理由として「交通の便がよい」、「買い物の便がよい」、「住宅の都合」などが挙げられています。

